

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【公表番号】特表 2019-506866 (P2019-506866A)

【公表日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-010

【出願番号】特願 2018-540841 (P2018-540841)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/37 (2006.01)

C 1 2 P 21/06 (2006.01)

C 1 2 N 15/57 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/37 Z N A

C 1 2 P 21/06

C 1 2 N 15/57

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I g G の切断のためのインビトロの方法であって、I g G を：

( a ) 配列番号 3 のアミノ酸配列；

( b ) 配列番号 3 のアミノ酸配列との少なくとも 70 % の同一性を有し、I g G システインプロテアーゼ活性を有するそれらの変異体；または

( c ) I g G システインプロテアーゼ活性を有する、( a ) もしくは ( b ) のいずれかのそれらのフラグメント

を含むポリペプチドと接触させることを含む方法。

【請求項 2】

前記アミノ酸配列が配列番号 3 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリペプチドを、I g G を含有する試料と、特異的システインプロテアーゼ活性が生ずることを可能にする条件下でインキュベートすることを含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 I g G がヒト I g G 1 である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記切断産物の同定および / または単離をさらに含む、前記請求項のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記同定および / または単離が、ゲル電気泳動または質量分析法による分析を含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

F c および F a b フラグメントを生じさせるために使用される、前記請求項のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 8】**

I g Gを検出するために使用される、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

**【請求項 9】**

( i ) 試料を、請求項 1 に記載のポリペプチドと、前記ポリペプチドの I g G 特異的システインプロテアーゼ活性を可能にする条件下で接触させること；および

( i i ) I g G 特異的切断フラグメントの存在についてモニターすること  
を含み、前記特異的切断フラグメントの存在が試料中の I g G を示す、請求項 8 に記載の方法。